

意見交換

意見等 今熊地区周辺エリア複合施設整備事業について、図書館の蔵書スペースは縮小するのか。プラネタリウムの機械について、希少性があり古いものなので保存してほしい。建物の改修や保存の検討はしなかったのか。

応 答 蔵書スペースは同規模程度又は縮小させる可能性もあるが、機能の共有化で閲覧スペース等の充実を図る。プラネタリウムの機械は、故障すると、部品の調達が困難である。今後の扱いについては、ご意見として検討したい。建物の改修については、耐震性の問題から建替えを前提として事業を進めてきた。老人福祉センター、公民館、図書館等をエリア内に集約させる目的がある。

意見等 行政と市民の間団体である「自治会」をもっと市政の中で位置付け、まちづくりに参画させるべきではないか。

応 答 行政サービスを持続させるために市民の担い手が必要であり、地域のあり方を考える時期にあることは認識している。市民と協議しながら検討を進めたい。

意見等 地域イベントが点在しており自治会間の連携が少ない。さやりんバスの無料化期間とイベント時期を合わせるなど、市内全域での盛り上げや経済活性化に繋げてほしい。

応 答 中学校区・小学校区単位のイベント連携は重要と考えている。狭山池まつりのような市域全体で大きな輪を作るという考え方と各地域で小さい輪をたくさん作るという考え方がある。さやりんバスの無料化期間は長期休暇（ゴールデンウィーク・シルバーウィーク）の利便性を考慮しているもので、今後の検討材料としたい。

意見等 行政の執行権のプロセスに市民の意見を反映させる機会を設けてほしい。

応答 地域への影響が大きい事業については、パブリックコメントや事業ごとに周知・説明を行っているが、簡易なものを含め全てに対応するのは難しい面もある。一定のご理解をお願いしたい。

意見等 「子供や若者の未来が輝くまちづくり」のためには、それを指導する教育者の育成が不可欠である。大阪狭山市の特色ある教員育成に取り組んでほしい。姉妹都市への教員派遣研修制度の創設など、大阪狭山市独自の教員研修制度があればいいと思う。

応答 教員の指導力向上が重要であるという考え方には賛同する。現状でも教育委員会にて研修は行っているが、ご提案いただいた海外研修等の派遣については、教員の多忙さや過去の事例（継続が困難であったこと）などの課題もある。今後、実施の可能性を含めて検討する必要がある。

意見等 狭山池の1400年の歴史や、金剛駅が南河内地域の玄関口であることを踏まえ、狭山池を中心とした観光事業にテコ入れすべき。宿泊施設の検討や、通過点ではない「ハブ都市」としての魅力を高め、インバウンド対応も視野に入れてほしい。

応答 観光事業をどこまで展開するかについては、思案しているところで、大阪狭山市の強みは「住環境の良さ」にあると考えており、観光事業によってその住環境が維持できるかという課題がある。今後のまちづくりの方向性として、市民の意見を聞きながら慎重に検討したい。

意見等 市民に災害時の危機感が不足している。避難所ばかりに意識が集中している。市全体で、組織の連携や訓練の習慣化が必要ではないか。

応答 市民の危機意識向上は行政の重要な課題であり、継続的な取り組みが必要である。自主防災組織との連携も含め、防災体制の強化を図る。

意見等 狭山池博物館をPRできないか。1400年の歴史を持つ狭山池と万博のレガシー（EVバス、VR体験など）をリンクさせ、新たなコミュニケーションや観光・PRの機会を創出できないか。

応答 狭山池博物館は「府・市・市民（狭山池まつり実行委員会）」の3者協働で運営している。今後のあり方については、この枠組みの中で議論したい。